

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	道路新設改良等事業				事業通番	4568			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--		
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係	
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費		重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町町道管理基準要綱							
事務事業の概要	町道、水路などの改良等を行い、ライフラインの安全を確保する。 狭隘な町道の改良や歩道の設置、未改良区間の改良等を行い、良好な道路交通環境を確保し、町民の利便性・安全性を図る。							
対象（誰、何を）	町道の狭隘区間							
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全な道路の通行が確保される							
成果の考え方	町民の利便性、安全性を図る							
【成果指標】								単位
A	測量設計延長							m
B	改良（施工）延長							m

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	148,368	135,014	230,315	130,562	
国庫支出金	35,170	35,116	74,955	16,959	
県支出金					
地方債	76,400	61,000	120,500	75,000	
その他					
一般財源	36,798	38,898	34,860	38,603	

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	510	200	1,000	250	
	530	220	1,110	250	
B	740	300	600	500	
	685	282	638	432	

（3）活動実績及び成果

活動実績	町道12009号線歩道整備工事を着工し令和7年度の完了に向け鋭意進行中である。 また、川原町雨水対策工事では2号浸透施設も完了し利便性、安全性を確保した。							
成果	町道12009号線歩道整備工事の進捗が図れた。 また、水路や舗装の新設により良好な道路交通環境の確保が図れた。							

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 緊急度合いによる優先順位を設定し、年次計画で整備することにより利便性、安全性を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 再生材を利用しコスト縮減に努めており、削減の余地はない状況である。
今後の方向性	現状維持	(理由) 優先順位、年次計画により道路交通環境整備を行い、利便性、安全性の向上を図る。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	公共交通利用促進事業				事業通番	4712	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、会津美里町地域公共交通会議設置要綱						
事務事業の概要	地域公共交通網形成計画に掲げる基本理念「安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指す」に基づき、利用者ニーズを踏まえ地域内交通及び地域間交通の維持・充実を図るとともに、広域交通を担う路線バスにおいては、新たな交通拠点や目的施設を経由するなど、便利で持続可能な公共交通網を形成する。						
対象（誰、何を）	町民						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公共交通を利用する						
成果の考え方	町民の日常生活に必要な移動手段が維持・確保され、通院や買い物、趣味活動等において外出利用が増えているかを評価とするため、以下の指標を設定する。A：美里あいあいタクシー利用者　B：路線バス利用者						
【成果指標】							単位
A 美里あいあいタクシー利用者							人
B 路線バス利用者							人

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	53,168	74,151	72,328	92,159	
国庫支出金				500	
県支出金	5,803	6,600	6,947	10,447	
地方債					
その他	7,695	85	73	75	
一般財源	39,670	67,466	65,308	81,137	

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	27,450	27,450	27,450	27,450	
	22,235	23,411	23,940	24,350	
B	844	844	844	844	
	596	547	594	620	

（3）活動実績及び成果

活動実績	・路線バスの利用促進策として、こども園の年長児童が書いた絵を展示したギャラリーバス運行を実施し、児童42名が乗車した。また、こども園年長児を対象にしたバス試乗会を実施し、72名が参加した。 ・美里あいあいタクシーについて、令和6年6月から坂下厚生病院便実証運行を行い、延べ148名が利用した。 ・公共交通政策のマスタープランとなる「会津美里町地域公共交通計画」を策定するため、町内全域を取り巻く現状・課題・需要を把握し、計画の基本方針・基本目標・評価指標・数値目標を設定した。
成果	・路線バス利用への意識醸成が図られた。 ・利用者ニーズに応えるデマンド交通の実証を実施できた。 ・会津美里町地域公共交通計画(R8～R12)策定に向けた準備を整えた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 公共交通は住民の生活に必要な不可欠で重要な役割を果たしているため、利用者のニーズを的確に把握し、サービスの向上に努め、利用者の増加を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） デマンド交通においては、日曜日運行の廃止により一部縮小が見込まれるが、ドライバーの不足や燃料費の高騰などの影響により全体的には現状維持となる見込みである。
今後の方向性	現状維持	（理由） 公共交通を取り巻く現状を調査し、課題を把握した「会津美里町地域公共交通計画」を策定し、将来にわたり持続可能な公共交通体系を再構築する。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	除雪対策事業				事業通番	16755	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第百八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第						
事務事業の概要	除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	除雪路線（歩道を含む）						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	除雪（排雪を含む）を行い、住民の安全な通行を確保する。						
成果の考え方	除雪に対する住民の満足度 直接の数値を捉えることは困難なので、間接指標とする。除雪のクレームや要望が少なければ少ないほど満足度は高いといえる。						
【成果指標】						単位	
A	降雪により通行不能となった日数						日
B	-						-

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	225,502	133,739	139,826	273,018	
国庫支出金	38,455	4,982	23,583	64,838	
県支出金					
地方債	8,300		5,500	12,600	
その他	916	198	2,099	1,621	
一般財源	177,831	128,559	108,644	193,959	

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	0	0	0	0	
	0	0	0	39	
B	-	-	-	-	
	-	-	-	-	

（3）活動実績及び成果

活動実績	除雪作業実施時に問題なく除雪機械が作動するように点検整備を実施した。 降雪時期に地域住民の生活、経済活動を維持するために除雪作業、排雪作業を実施した。
成果	2月に発生した災害級の大雪のため降雪量、積雪量ともに多く、路線によっては除雪が困難になりやむを得ず通行止めとした箇所もあったが、全体的に拡幅作業、排雪作業、路線によっては集中除雪を実施したことで交通障害を解消し、通行の安全を確保できた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬季間の交通の安全を維持するために必要不可欠である。
コストの方向性	現状維持	（理由） 現在、会計年度任用職員（町直営）と委託業者により除雪作業を実施しているが、GPS除雪システムによる除雪路線の見直しを含め、コストの検討が必要である。
今後の方向性	現状維持	（理由） 除雪管理システムを活用し、除雪路線の効率化を促進し、コスト縮減に努める。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	道路維持管理事業				事業通番	16756			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--		
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係	
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費		重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第百八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第156号）							
事務事業の概要	町が管理する施設全般の安全確保を図るため維持管理を行う。							
対象（誰、何を）	町が管理する町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯							
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯が安全に機能することを維持する。 具体的には、繁茂して邪魔な草木の除去、陥没等があれば修繕し、危険が予測される状況であればその危険を取り除く。 必要であれば、構造を変える修繕を実施し、住民の利便性の向上に寄与する							
成果の考え方	A：住民や区長から寄せられた要望に加え、パトロールで発見した修繕が必要な箇所について、現場を確認し修繕対応した箇所 B：道路除草が必要な箇所について業務委託契約により実施した面積							
【成果指標】								単位
A 修繕実施箇所（道路・歩道・水路・街路灯）								件
B 道路除草実施面積								m

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	143,419	173,655	176,690	173,078	
国庫支出金	728	14,246	14,504	19,600	
県支出金	12,469	13,131	13,532	14,480	
地方債	59,100	48,700	75,300	59,600	
その他	2,976	2,926	3,362		
一般財源	68,146	94,652	69,992	79,398	

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	100	100	100	100	
	104	134	231	211	
B	100	99,550	235,000	235,000	
	241,927	235,137	235,767	236,587	

（3）活動実績及び成果

活動実績	職員、公社委託によるパトロール及び各自治区長報告により、危険箇所・破損箇所の修繕を実施した。
成果	危険箇所・要望箇所を修繕することで住民生活、経済活動の維持向上が図れた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 道路等の維持管理を適切に行うことで、住民の安心安全を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 物価や賃金の上昇に加え、施設の経年劣化が進み、事業費が増大傾向にある。
今後の方向性	現状維持	(理由) 舗装等の修繕費用が増大していることから、部分的な修繕でなく、路線全体の舗装打替えの促進が必要である。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	橋梁長寿命化補修事業				事業通番	16757	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	本町が管理する道路橋は現在156橋あり、急速に老朽化が進行している状況にある。このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕及び架け替えに要する経費を、予防的な対応に転換し、コスト縮減を図りながら橋梁の補修を行う。						
対象（誰、何を）	町の管理する橋梁						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	橋梁の安全が確保される						
成果の考え方	老朽化が進行する橋梁を補修することで、橋梁の安全性が確保され、長寿命化が図れる。						
【成果指標】						単位	
A	定期点検を行った橋梁数						橋
B	点検結果に基づき補修を行った橋梁数(補修設計含)						橋

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	36,005	44,314	42,352	33,440	
国庫支出金	22,113	25,434	16,813	7,625	
県支出金					
地方債	3,700	10,200	19,400	15,800	
その他					
一般財源	10,192	8,680	6,139	10,015	

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	34	65	16	0	
	54	65	16	0	
B	1	1	2	2	
	1	1	2	2	

(3) 活動実績及び成果

活動実績	249号橋（判定Ⅲ）の補修工事をおこなった。 橋梁長寿命化修繕計画では、2巡目点検結果を踏まえた長寿命化修繕計画の見直しを行った。						
成果	判定区分Ⅲである要因部分の補修をおこなうことができた。 橋梁長寿命化修繕計画の見直しを図ることで、予防保全を含めた管理計画の見直し、橋梁の状態や修繕の優先順位を把握することができた。						

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 予防保全に努めることにより、効果的な維持管理を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 工法、材料についてコスト縮減に努めており、削減の余地はない。
今後の方向性	現状維持	(理由) 予防保全に努め、今後も橋梁の長寿命化を図る。